2024年3月期 期末株主通信

2023年4月1日▶2024年3月31日

18期

COPRO REPORT

TOPICS 01

コプロの技術者は、あなたが暮らすまちで活躍しています

TOPICS 02

成長の軌跡とコプロの現在地

TOPICS 03

「〇〇」に応えるプロ、コプロ

株式会社コプロ・ホールディングス

（証券コード：7059）

TOP INTERVIEW

代表取締役社長　清川 甲介

旺盛な建設需要と、半導体分野の拡大に着目
技術者は4,000名を突破し、2025年3月期は良好な滑り出し

2024年3月期は増収増益となり、ほぼ予想通り目標を達成

中期経営計画「コプロ・グループ Build the Future 2027」の2年目となる2024年3月期は、売上・利益とも順調に推移し、ほぼ予想通り目標を達成することができました。1年以上前から取り組んできた、“選ぶ”採用から“採る”採用に向けたプロセスの見直しや本社機能などのバックオフィスの生産性向上などが奏功した結果となりました。

建設分野では、大阪万博やリニア中央新幹線のほか、関東・中部・関西といった都市圏の再開発を中心とする堅調な建設需要を背景に、大手・準大手ゼネコンへの深耕営業に力を注いできました。従来の人手不足に加え、建設業界の2024年問題も後押しし、受注は拡大する見込みです。また、機電・IT分野では、新規開拓で土台を築きながら、人材不足が懸念される半導体エンジニアを派遣するため、2024年2月、新横浜に研修センター「セミコンテクノラボ」を開設しました。今後、国内の生産拠点が拡大する半導体分野にエンジニアを供給していきます。

2025年3月期は半導体分野に約100名の派遣を

経済安全保障リスクに対して半導体の国産化が進むなか、熊本県には半導体の受託生産最大手の台湾・TSMCが、北海道には日系企業8社の支援で設立されたラピダスが、それぞれ工場建設を進めています。これら新設工場ほか多くの現場では、半導体製造装置のメンテナンスや、配線作業などのフィールド業務を担う人材の需要が増加しています。当社の研修センターで技術を習得した未経験のエンジニアを中心に、2025年3月期には100名、翌2026年3月期に200名と、2年間で300名の派遣を目指します。将来的には、全国での採用を強化すべく、九州・東北・北海道へ拠点の拡大を検討してまいります。

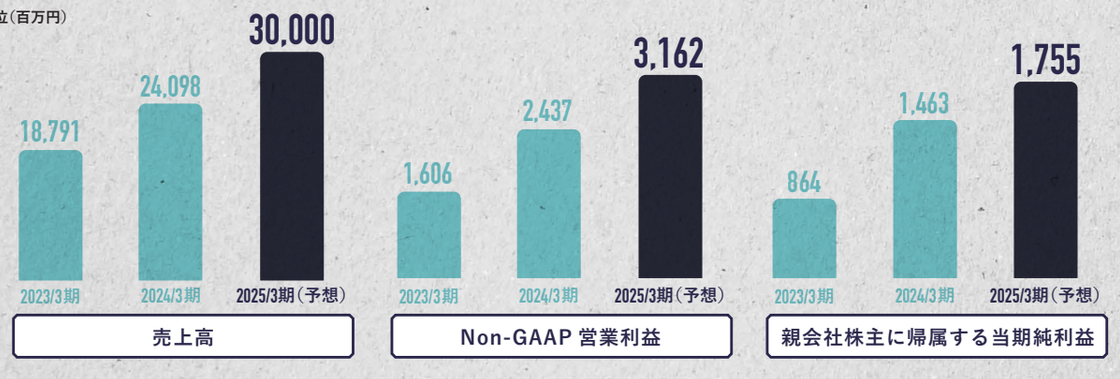
採用強化とともに技術者の定着に、より一層注力

技術者派遣では、「採用」と「定着」が重要です。2024年4月、当社グループの在籍技術者数は、ついに4,000名を突破。2025年3月期は、良好な滑り出しとなっています。これは、人材紹介に依存せず自社採用にこだわり、1人の採用コストが業界水準の半分程度である30万円台という強みを発揮した結果です。また、担当者を増やし採用部門を強化したこと、業務の標準化を図ったことも貢献しました。一方、技術者は志事に慣れるまでの入社1～2年目の離職が多くなる傾向にあります。新人の定着を図るため、配属先のミスマッチの解消や配属後のフォローのほかベテラン社員とともに現場へ送り出すチーム派遣にも、注力していきます。

エンジニア派遣ではいま、業界再編の動きが活発化しており、このなかで存在感を示していかなければなりません。2025年3月期は中期経営計画のちょうど「折り返し地点」です。目標の達成に全力で努めてまいります。

Financial Highlights（連結）

単位（百万円）



2025年3月期 年間配当（予想）

1株当たり **60.0**円
・中間配当20.0円
・期末配当40.0円

※前期比10円増配。
※2023年10月1日付で1対2の株式分割を実施しています。

配当方針

経営上の重要課題の一つである株主還元においては、配当を基本に考えています。「コプロ・グループ Build the Future 2027」の対象期間は減配せず、連結配当性向50%以上を目処としながら、積極的な投資による利益成長に応じた安定的な配当を基本方針とします。

2025年3月期の配当について

2024年3月期末配当は普通配当30円に加え、上場5周年記念配当5円を上乗せし、1株当たり35円（前期比15円増配）。年間配当は中間配当15円と合わせて、前期比25円増配の50円です。2025年3月期においては、1株当たり10円増配し、年間60円（連結配当性向65.2%）を予想しております。

コプロの技術者は、あなたが暮らすまちで活躍しています

大阪万博やリニア中央新幹線、大規模な都市開発など、国を挙げてのビッグプロジェクトが動き出すなか、2024年4月にスタートした時間外労働の上限規制も後押しし、人材ニーズが増加する建設業界。そして、デジタル化が進むとともに堅調に需要が推移する機電・IT分野に加え、次々と工場の稼働が始まる半導体分野と、コプロ・グループが活躍する舞台はますます拡大しています。今もたくさんのエンジニアたちが、あなたが暮らすまちのどこかで、安全で豊かな暮らしを支えています。

土木の現場

急速に進む老朽化、自然災害のリスクが高まるなか、橋や道路、トンネルなどインフラを整備する公共事業の現場を支えています。

建設の現場

都市部を中心とする開発事業、老朽化した建築物の建替えやリノベーションなど、大手・準大手ゼネコンを中心として底堅い建設需要。オフィスビルやホテル、商業施設など、全国各地の現場を支えています。

ITの現場

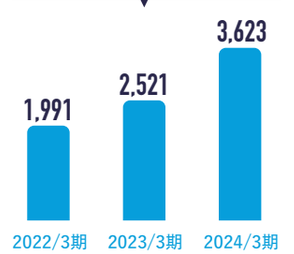
いまやIT抜きでは生活もビジネスも成り立ちません。システム構築やDX推進を支援します。

DATA 1

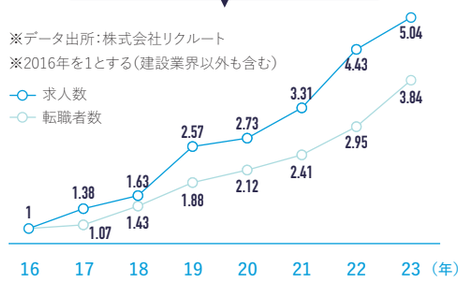
数兆円規模の大規模プロジェクトが次々と

2025年の大阪万博の開催を皮切りに、国際会議場・ホテル・カジノなどの複合観光施設となるIR（統合型リゾート）の誘致、そしてリニア中央新幹線の開業と、国内では数兆円ともいわれる巨大な建設投資が控えています。これらビッグプロジェクトには多くの人材が必要になるため、技術者派遣の拡大が見込まれています。

建設技術者派遣：当社の年間契約件数推移



施工管理の求人数推移と転職者数推移

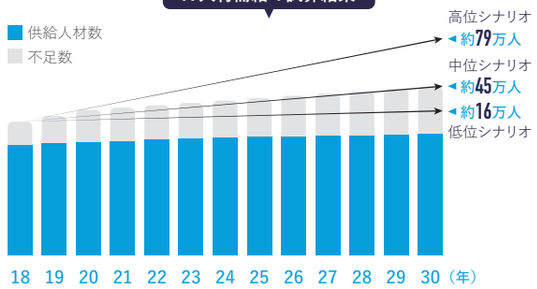


DATA 2

IT業界の人材市場は堅調に拡大

経済産業省が公表した「IT人材需要に関する調査」によると、2018年に約22万人不足するIT人材ですが、2030年には中位シナリオで約45万人、高位シナリオでは約79万人も不足。需給ギャップはますます拡大すると予測されます。

IT人材需給の試算結果

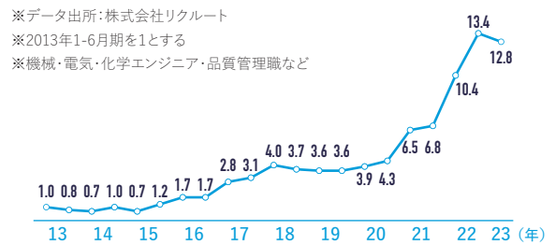


DATA 3

半導体エンジニアの人材ニーズが急拡大

コロナ感染症拡大による通信・ネットワーク機器の利用増加や、EVやスマート家電の普及により、半導体の需要が拡大。さらに、米中貿易摩擦による地政学リスクの高まりや円安により、半導体工場の国内回帰が進みました。これにより半導体エンジニアの求人が急増しています。

半導体関連エンジニア求人の半期推移

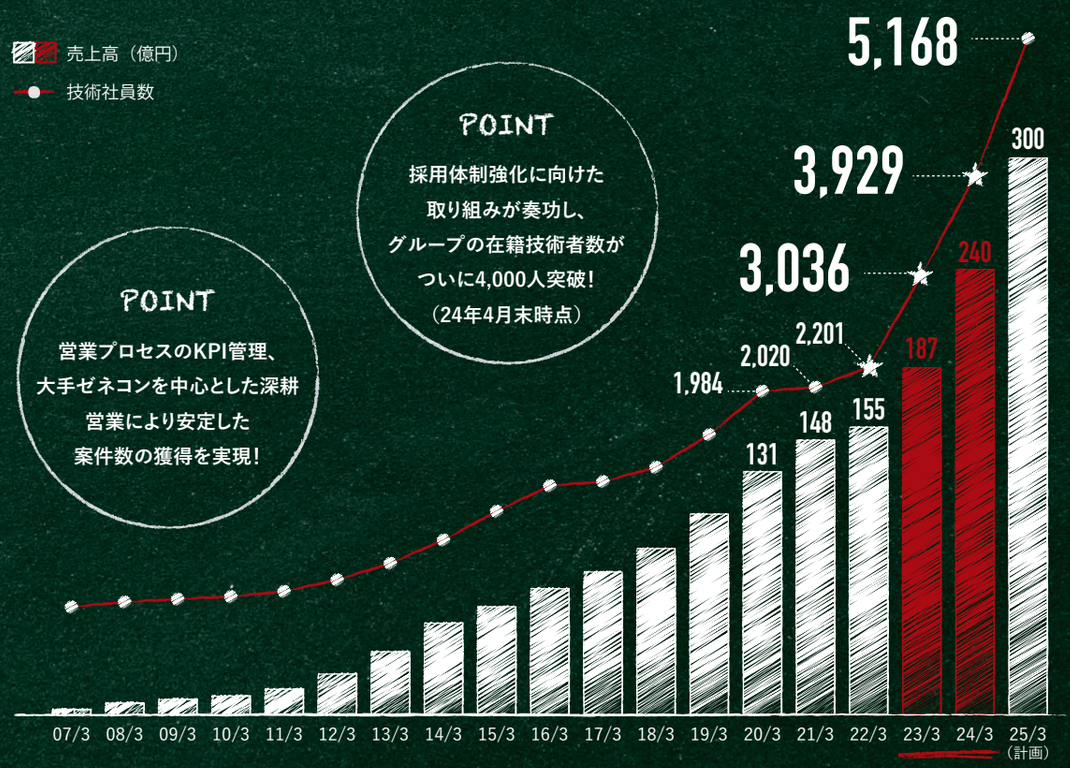


TOPICS 02

成長の軌跡とコプロの現在地

2006 年に創業した当社は、ステークホルダーの期待に「応えるプロ」として人材派遣を開始。経験者採用が中心の従来のやり方から、採用改革を始めた 2023 年 3 月期を契機に、未経験者を採用・育成する方法へと、大きくビジネスの舵を切ります。上場後、M&A により機電･IT 分野にも業容を拡大。エンジニアのキャリアアップを支援する「エンジニア応援プラットフォーム」をスタートし、業界 No.1 を目指してまいります。

成長推移



成長の軌跡：建設技術者派遣事業

営業改革

2022年3月期より、営業改革を実施。営業プロセスの徹底したKPI管理による活動量の拡大や業務の標準化を実施しました。また、建設需要の高い東名阪の営業人員を拡充する取り組みにより、顧客企業からの取得案件数が大幅に増加。さらに、豊富な案件を保有する大手・準大手ゼネコンをターゲット企業とし、深耕営業を継続することで、毎期安定した案件数の獲得を実現。

採用改革

2023年3月期より成果を上げた営業改革の取り組みを採用活動へ導入しました。採用プロセスを徹底管理することでターゲットとなる求職者層の応募を効率的に獲得し、応募管理システムを活用した面接設定の自動化により、応募から面接実施までのリードタイムを短縮。これらの取り組みで採用コストを抑制しながら、同業他社をアウトパフォームする技術者数の増加率を実現。

今期の戦略

採用プロセスにより一層磨きをかけるとともに、技術者の定着率改善に注力します。当社の強みである業界最高水準の「自前採用」を継続すべく、自社求人サイト「ベスキャリ建設」やリファラル採用などを活用し採用チャネルを拡大。さらに、在籍1～2年目技術者に対する教育を強化し、定着率を改善していくことで、高単価となる中間層を育成してまいります。

TOPICS 03

採用 」に応えるプロ、コプロ

コプロで活躍する社員が登場し、いろんな質問に答えるコーナー。
仕事への思いや働きがいを伝えます。

Profile

島川 福宏 さん

2017年4月入社

Q.1 現在の仕事内容は?

エンジニアをめざす求職者を対象とするキャリア採用です。面接では、仕事内容やコプロの考え方、本人の希望や将来像などを共有し、求職者のキャリア形成をサポートします。

Q.2 入社を決めた理由は?

学生時代に建設業界でアルバイトをした経験から、地元・広島での会社説明会に参加したことがきっかけです。質疑応答の際、清川社長に差されたとき、生意気にも「社長が現状に満足するような会社は嫌です」と発言したんです。ところが最終面接で再び清川社長に会い、「広島で会ったよね?」と覚えていてくれて。縁を感じて入社を決意しました。

Q.3 仕事をする上で工夫していることは?

1年目は営業で、2年目に採用部門へ異動。まわりは30～40代で、20代前半の若手は自分一人でした。まわりに少しでも追いつくため、自発的に建設業界のことを学んだり、社員同士で行うロールプレイングで採用力に磨きをかけたりなど、求職者の立場に立った採用を日々学んでいます。中でも業界歴の長い技術者と交流し、わからないことを率直に質問するようにしています。建設分野は奥が深く、機械・電気などの設備、RC造や鉄骨造などの専門性が求められるんです。そのため、ベテラン社員から多くの専門知識を教わることが大切だと感じています。

Q.4 やりがいを感じる瞬間は?

ここ最近、採用の重要性が高まり、会社としても採用の取り組みに注力しています。採用担当として、コプロの成長の一端を担っていることにやりがいを感じています。また、採用を担当した当初は経験者採用が中心でしたが、未経験者採用へ会社の方針が大きくシフトし、未経験の求職者が新たな業界にチャレンジする手伝いができることも魅力の一つですね。

Q.5 大切にしている価値観は?

目の前の求職者と真剣に向き合うこと。採用は求職者の人生に関わる仕事なので、どの面接も真剣勝負です。だからこそ建設業界の魅力ばかりでなく、大変さも伝えるようにしています。厳しいようですが、こういう本音での話が信頼関係につながり、私たちの熱意が求職者に伝わるのだと思います。

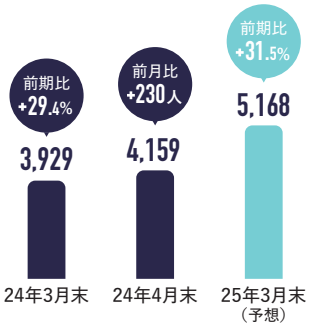
株式会社コプロコンストラクション 代表取締役社長就任

建設技術者派遣事業を行う株式会社コプロコンストラクションでは、2024年6月14日付で代表取締役社長に越川裕介（前取締役）が就任いたしました。越川は営業部門の責任者を歴任した後に2017年からは取締役として採用戦略を推進し、2021年4月からは営業部門を統括し、当社の事業成長をけん引してまいりました。
今回の就任により、事業子会社における経営判断スピードの迅速化を図り、営業と採用の両活動を更に強化することで、さらなる業績の向上に努めてまいります。

コプロ・グループ技術者数4,000名突破

主力事業である建設技術者派遣事業において、2023年3月期から取り組みを開始した採用改革が奏功し、2024年3月期は業界平均をアウトパフォームする技術者数の増加率を達成しております。この結果、2025年3月期の発射台となる2024年4月末時点の在籍技術者数はグループ合計で4,159人となり、前月比+230人と過去最高の増加数を記録しました。今後も建設・IT業界の強い需要を追い風としながら、さらなる技術者数の拡大を目指してまいります。

在籍技術者数



COPRO'S MINI COLUMN #02

お気に入り名古屋スポット

喫茶店のモーニング

コーヒーを頼むとトーストがついてくる名古屋ならではの「モーニング」がコプ郎のお気に入り。特に、小倉あんとバターをトーストにのせた名古屋名物「小倉トースト」がコプ郎の一押しモーニングです。

IR CALENDAR 2024

- 8月9日 ▶ 第1四半期決算発表
- 11月中旬 ▶ 第2四半期決算発表
- 12月上旬 ▶ 中間配当支払

Contact／お問い合わせ

● **IR・企業情報に関するご質問**
株式会社コプロ・ホールディングス
経営企画室 IR広報課
0120-253-066（フリーダイヤル）
愛知県名古屋市中村区名駅3-28-12
大名古屋ビルヂング25階

● **株式取扱い・配当金振込等に関するご質問**
三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部
0120-232-711（フリーダイヤル）
東京都府中市日鋼町1-1

copro
IRに関するWebサイトもご覧ください

UD FONT
FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C000000
non VOC ink eco UV